



# 鹿児島市の 再開発



つながる人・まち  
彩りあふれる  
躍動都市・かごしま

# はじめに

鹿児島市は、雄大な桜島と波静かな錦江湾に代表される多彩な自然、世界に誇りうる魅力ある歴史・文化など豊かな地域資源に恵まれ、商業・交通などの多様な都市機能が集積する南九州の中核中核都市として着実な発展を遂げてきました。

また、新幹線の南の発着点である鹿児島中央駅をはじめ、九州縦貫自動車道や南九州西回り自動車道などの高速交通網、離島航路の発着機能を持つ鹿児島港や大型クルーズ船の接岸が可能なマリナーポートかごしま、本市と短時間で結ばれ国際線を有する鹿児島空港など、国内外とのダイナミックな交流を支える基盤を備えており、これらを生かし、国内外から数多くの来街者が行き交う都市づくりを進めています。

今後も、第六次鹿児島市総合計画に掲げた都市像「つながる人・まち 彩りあふれる 躍動都市・かごしま」の実現に向け、コンパクトなまちの実現を目指すとともに、中心市街地等のさらなるにぎわいの創出や回遊性の向上を図りながら、個性と魅力あるまちづくりを進めていきます。

## 目

## 次

1	再開発事業とは	1
	市街地再開発事業（都市再開発法に基づく再開発：法定の再開発） 優良建築物等整備事業、暮らし・にぎわい再生事業（任意の再開発）	
2	鹿児島市における再開発事業	2
3	再開発事業の事例	3
	○鹿児島中央駅周辺(旧西鹿児島駅周辺)	3
	・西鹿児島駅東口10番街区【再】	
	・西鹿児島駅東口6番街区【再】	
	・中央町22番街区【再】	
	・中央町23番街区【再】	
	・中央町19・20番街区【再】	
	・中央町16番街区【暮】	
	○天文館周辺	6
	・平之町10番街区【優】	
	・西千石町13番街区【再】	
	・平之町2番街区【優】	
	・東千石町19番街区【暮】	
	・呉服町6番街区【暮】	
	・千日町1・4番街区【再】	
	○その他	9
	・小川町21番街区【再】	
	・浜町1番街区【優】	
4	再開発事業の流れ	10

# 1. 再開発事業とは

再開発事業によるまちづくりは皆さんの次のような考えから始まります。

- ・店舗の共同化等で商店街の活性化を図りたい。
- ・老朽化した建物を周辺と一体となって収益性の高いビルに建替えたい。
- ・家屋の密集した地区を防災面に配慮した建物に替えたい。 など

このような課題を解決する手法の一つに再開発事業があります。再開発事業のうち、代表的なものとして「市街地再開発事業」、「優良建築物等整備事業」及び「暮らし・にぎわい再生事業」があります。

## 市街地再開発事業（都市再開発法に基づく再開発：法定の再開発）

### ○市街地再開発事業のしくみ

- ・事業化にあたっては一定の要件に該当することが必要です。
- ・権利者の従前の資産は、新しいビルの床に等価で置き換わることになります。
- ・新しいビルの床を希望しないで転出される方は、従前の資産について金銭による補償を受けることができます。
- ・新しいビルの建設費用は、保留床の売却費や補助金等でまかさないです。
- ・新しいビルの完成後は、管理組織を設立してビルの管理運営を行います。

### ○民間活力を活用した市街地再開発事業

- ・地区内の土地所有者、借地権者が組合を設立して事業を行う場合や、個人または再開発会社による施行があります。
- ・本市は、このような民間施行による市街地再開発事業を推進しています。

## 優良建築物等整備事業、暮らし・にぎわい再生事業（任意の再開発）

これらの制度は、法的な手続きの必要がなく、一定の条件を満たす任意の再開発事業に対し補助を行うものです。

### ○優良建築物等整備事業

市街地環境の整備改善、良好な市街地住宅の供給等に資するため、土地の利用の共同化、高度化等に寄与する優良な建築物等の整備に対する支援制度です。

### ○暮らし・にぎわい再生事業

中心市街地の再生を図るため、内閣総理大臣による中心市街地活性化基本計画の認定を受けた地区内において、都市機能のまちなか立地、空きビル再生、多目的広場等の整備を総合的に支援する制度です。

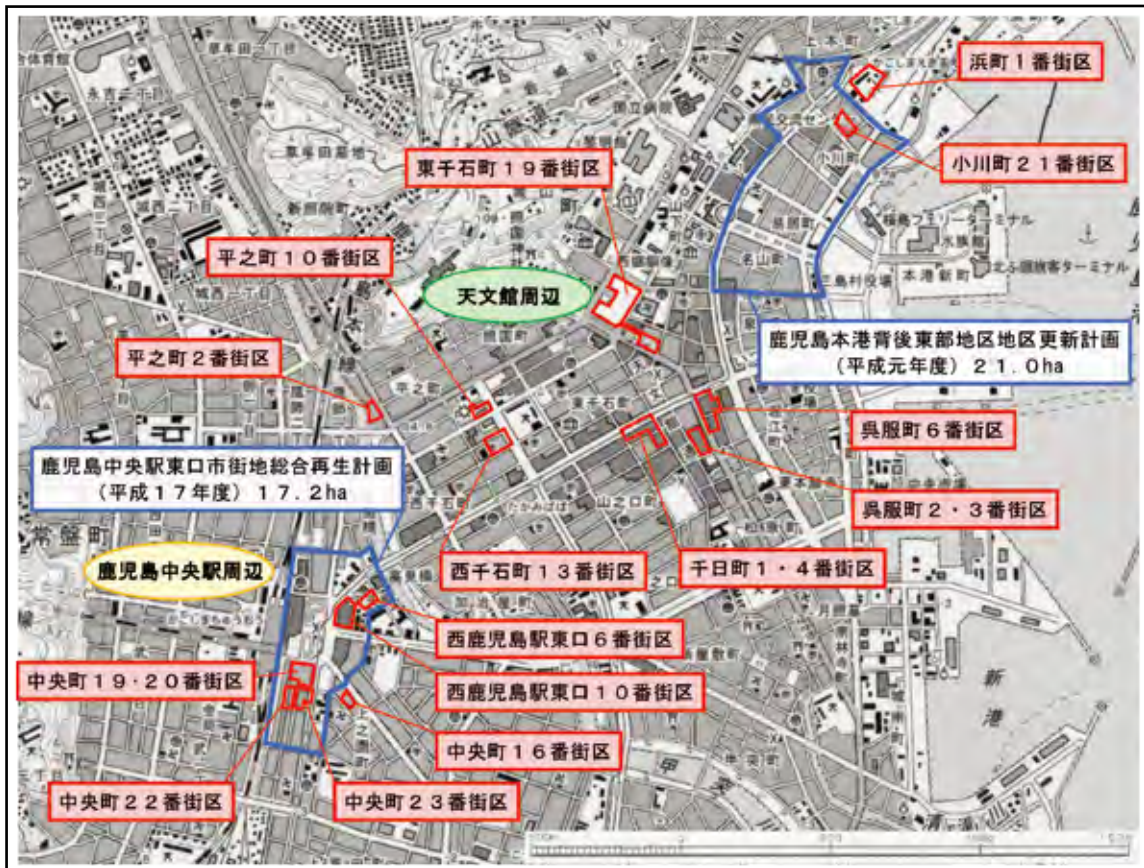
## 2. 鹿児島市における再開発事業

市街地再開発事業等一覧表

	地区名	事業種別	事業年度	施行者	用途						掲載ページ
					住宅	商業	業務	公益	駐車場	その他	
鹿児島中央駅周辺	西鹿児島駅東口10番街区	再	S62～H11	組合		○	○	○			P3
	西鹿児島駅東口6番街区	再	H元～H11	個人					○		P3
	中央町22番街区	再	H17～H22	組合		○	○		○		P4
	中央町23番街区	再	H17～H22	組合	○	○					P4
	中央町19・20番街区	再	H24～R3	組合	○	○	○				P5
	中央町16番街区	暮	R元～R2	民間		○	○	○	○		P5
天文館周辺	平之町10番街区	優	H8～H10	民間	○	○					P6
	西千石町13番街区	再	H10～H15	組合	○	○			○		P6
	平之町2番街区	優	H14～H16	民間	○						P7
	東千石町19番街区	暮	H21～H24	民間		○		○	○	○	P7
	呉服町6番街区	暮	H21～H22	民間		○		○	○		P7
	千日町1・4番街区	再	H27～R3	組合		○	○	○		○	P8
その他	原良団地近隣センター	優	H元～H5	公社	○	○					—
	小川町21番街区	再	H2～H8	組合	○	○			○		P9
	浜町1番街区	優	R2～R5	組合	○	○			○		P9

※駐車場は商業用

再開発事業地区位置図



出典 国土地理院発行の2万5千分の1地形図(鹿児島北部)  
// (鹿児島南部)

## 3. 再開発事業の事例

### 鹿児島中央駅周辺(旧西鹿児島駅周辺)

#### 西鹿児島駅東口10番街区

##### 事業概要(市街地再開発事業)

当街区は鹿児島中央駅から駅前広場と道路をはさんで東に位置し、店舗や住宅が混在していました。

そこで、駅前地区にふさわしいまちづくりが望まれ、快適な都市空間の確保と都市景観の創造を図るため、組合施行による再開発が取り組まれ、商業施設と公益的施設(市勤労者交流センター)による複合ビルが完成し、地区の活性化に寄与しています。

##### 事業の経緯

昭和57年11月	市街地再開発事業の促進について地元から市へ陳情
58年度	基本計画作成
61年1月	市街地再開発準備組合設立
61年度	推進計画作成
63年9月	鹿児島都市計画高度利用地区の決定
63年10月	鹿児島都市計画第一種市街地再開発事業の決定
平成元年6月	市街地再開発組合設立認可
2年度	既存建築物3棟除却
3年度	仮設店舗設置、既存建築物20棟除却
8年3月	権利変換計画認可
8年度	既存建築物20棟除却、整地
9年11月	施設建築物工事着手
11年5月	施設建築物竣工
11年6月	再開発ビルオープン(キャンセ)
13年1月	市勤労者交流センターオープン(7・8階)



##### 施設概要

地区面積	8,674㎡	敷地面積	4,365㎡
建築面積	3,525㎡	延床面積	30,509㎡
建ぺい率	80.8%	容積率	698.9%
構造	鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造		
規模	地下1階、地上8階		
用途	商業施設、業務施設、交流センター		

#### 西鹿児島駅東口6番街区

##### 事業概要(市街地再開発事業)

当街区は中央町10番街区に隣接し、低層の木造住宅地や平面駐車場として利用されていました。

10番街区市街地再開発事業との連携を図りつつ、個人施行による再開発が取り組まれ、周辺地域の駐車場不足を解消するため、立体駐車場が10番街区再開発ビルと同時に完成し、地区の活性化に寄与しています。

##### 事業の経緯

昭和62年度	10番街区準備組合理事会において駐車場設置対象地区の検討及び10番街区準備組合から6番街区地権者への働きかけ
63年度	推進計画作成
63年12月	市街地再開発協議会設立
平成9年12月	鹿児島都市計画第一種市街地再開発事業の決定
10年7月	施設建築物工事着手
11年5月	施設建築物竣工
11年6月	再開発ビルオープン(キャンセ駐車場)



##### 施設概要

地区面積	3,324㎡	敷地面積	2,713㎡
建築面積	1,932㎡	延床面積	15,047㎡
建ぺい率	71.2%	容積率	443.7%
構造	鉄骨造		
規模	地下1階、地上7階		
用途	駐車場(645台)、駐輪場(430台)		

## 中央町22・23番街区

### 事業概要(市街地再開発事業)

中央町22番街区、中央町23番街区は、鹿児島中央駅南部地区ひいては中央駅周辺の活性化のための先行プロジェクトとして、再開発が取り組まれた街区です。

22番街区では、平成22年3月に、商業施設と業務施設による複合ビル(アエールプラザ)がオープンし、23番街区では、同年9月に、商業施設と都市型共同住宅による複合ビル(アエールタワー)がオープンしました。

アエールプラザとアエールタワーが有する広場は、一番街アーケードの道路をはさんで、向かい合うように配置されるなど、2つの施設が一体的に整備されており、当該地区の活性化に寄与しています。

### 事業の経緯(22番街区)

- 平成14年12月 再開発協議会設立
- 15・16年度 推進計画作成(前期・後期)
- 17年 4月 市街地再開発準備組合設立
- 18年 1月 鹿児島都市計画第一種市街地再開発事業の決定  
鹿児島都市計画高度利用地区の決定
- 19年 6月 都市計画変更告示
- 20年 1月 市街地再開発組合設立認可
- 20年12月 権利変換計画認可
- 21年 1月 既存建築物除却(～平成21年3月)
- 21年 4月 施設建築物工事着手
- 22年 2月 施設建築物竣工
- 22年 3月 再開発ビルオープン(アエールプラザ)

### 事業の経緯(23番街区)

- 平成14年12月 再開発協議会設立
- 15・16年度 推進計画作成(前期・後期)
- 17年 4月 市街地再開発準備組合設立
- 18年 1月 鹿児島都市計画第一種市街地再開発事業の決定  
鹿児島都市計画高度利用地区の決定
- 18年10月 市街地再開発組合設立認可
- 19年 9月 権利変換計画認可
- 20年 1月 既存建築物除却(～平成20年4月)
- 20年 7月 施設建築物工事着手
- 22年 8月 施設建築物竣工
- 22年 9月 再開発ビルオープン(アエールタワー)

### 施設概要(22番街区)

地区面積	2,200㎡	敷地面積	1,643㎡
建築面積	1,315㎡	延床面積	4,983㎡
建ぺい率	80.1%	容積率	303.2%
構造	鉄骨造		
規模	地下1階、地上4階		
用途	商業施設(1,2階)、 業務施設(3,4階)、駐車場(37台)		

### 施設概要(23番街区)

地区面積	2,705㎡	敷地面積	1,731㎡
建築面積	1,524㎡	延床面積	12,978㎡
建ぺい率	88.0%	容積率	590.5%
構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造		
規模	地下1階、地上17階		
用途	商業施設(1,2階)、 共同住宅(3～17階、88戸)		



## 中央町19・20番街区

### 事業概要(市街地再開発事業)

当街区は、東口駅前広場に面し、南部地区の顔であったが、建築物の老朽化が進むとともに、商業の活力が低下している状況であった。

そこで、鹿児島県の玄関にふさわしい都市景観の形成や、にぎわいとゆとりある都市空間を創出するため、市街地再開発事業に取り組み、商業・業務施設と都市型共同住宅からなる複合ビルや駅前広場デッキ、電車通りデッキが整備され、中央駅周辺を含む中心市街地全体の活性化に寄与しています。

### 事業の経緯

- 平成17年 8月 中央町19番街区再開発研究会設立
- 18年 3月 中央町19番街区再開発協議会設立
- 19年 8月 中央町20番街区再開発研究会設立
- 21年 6月 中央町19・20番街区等再開発協議会設立
- 21年度 推進計画作成
- 24年 7月 市街地再開発準備組合設立
- 24年11月 事業協力者決定
- 27年11月 鹿児島都市計画第一種市街地再開発事業の決定  
鹿児島都市計画高度利用地区の決定  
鹿児島都市計画通路の決定
- 28年 3月 特定業務代行者決定
- 28年 7月 市街地再開発組合設立認可申請
- 28年12月 市街地再開発組合設立認可
- 29年 7月 権利変換計画認可申請
- 29年10月 権利変換計画認可
- 29年11月 既存建築物除却(～平成30年12月)
- 30年 5月 施設建築物工事着手
- 令和 2年10月 駅前広場デッキ開通、市へ駅前広場デッキ寄付
- 3年 1月 施設建築物竣工
- 3年 6月 商業施設全面オープン(Li-Ka1920)
- 4年 9月 電車通りデッキ開通、市へ電車通りデッキ寄付



### 施設概要

地区面積	7,007㎡	敷地面積	4,390㎡
建築面積	3,909㎡	延床面積	47,735㎡
建ぺい率	89.0%	容積率	848.5%
構造	7階以下:鉄骨鉄筋コンクリート造 8階以上:鉄筋コンクリート造		
規模	地下1階、地上24階		
用途	商業・業務施設(1階～7階)、 共同住宅(8～24階、210戸)		

### 電車通りデッキ

都市構造再編集中支援事業を活用した支援により、電車通りデッキが整備され、官民連携で維持管理を行うなど、歩行者の安全性・利便性・回遊性の向上に寄与しています。

## 中央町16番街区

### 事業概要(暮らし・にぎわい再生事業)

19・20番街区から約150mの距離に位置する当街区では、地区内に不足している託児所や商業・業務施設、19・20番街区再開発ビルの来客用駐車場で構成される複合ビルが整備され、鹿児島中央駅周辺の交通処理の円滑化や地区の活性化に寄与しています。

### 施設概要

地区面積	2,700㎡	敷地面積	1,960㎡
建築面積	1,567㎡	延床面積	12,410㎡
建ぺい率	79.9%	容積率	399.9%
構造	鉄骨造		
規模	地上9階		
用途	店舗・保育所(1階)、 自走式駐車場(2～7階)、事務所(8,9階)		



### 事業の経緯

- 令和元年 9月 中心市街地活性化基本計画認定
- 元年10月 暮らし・にぎわい再生事業計画提出
- 2年 1月 施設建築物工事着手
- 3年 1月 施設建築物竣工
- 3年 2月 自走式駐車場オープン
- 3年 3月 店舗・保育所・事務所オープン

# 天文館周辺

## 平之町10番街区

### 事業概要(優良建築物等整備事業)

当街区は本市の中心市街地に位置し、老朽化した低層木造建築物の店舗や共同住宅が密集していました。

そこで、土地の有効利用を図り、オープンスペース等を確保した良好な環境整備を行うため、同事業の優良再開発型(共同化タイプ)による再開発が進められ、都市型共同住宅が完成し、地区の活性化に寄与しています。



### 施設概要

地区面積	1,730㎡	敷地面積	1,061㎡
建築面積	518㎡	延床面積	4,231㎡
建ぺい率	48.8%	容積率	398.8%
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造		
規模	地上12階		
用途	店舗(1階) 共同住宅(2~12階、50戸)		

### 事業の経緯

平成 8年度 優良建築物等整備事業制度要綱に基づく認定申請書提出  
9年 3月 施設建築物工事着手  
10年 7月 施設建築物竣工

## 西千石町13番街区

### 事業概要(市街地再開発事業)

当街区は本市の中心市街地に位置し、共同市場建物を中心に老朽化した低層木造建築物の店舗や住宅が密集しており、防災上も問題がある状況にありました。

そこで、土地の高度利用を図り、オープンスペースを確保し、快適で安全な都市環境を再生するため、組合施行による市街地再開発事業が取り組まれ、市場の風情を残した商業施設と職住近接の都市型共同住宅からなる複合ビルが完成し、地区の活性化に寄与しています。



### 事業の経緯

昭和60年度 商店街診断(中小企業課)  
63年 1月 厚生市場再開発推進協議会設立  
63年度 高見馬場厚生市場近代化及び西千石町13番街区再開発基本計画策定調査実施(中小企業課)  
平成 元年度 再開発事業推進調査実施(中小企業課)  
元年10月 再開発協議会設立  
8年度 推進計画調査実施  
9年12月 市街地再開発準備組合設立  
12年 3月 鹿児島都市計画第一種市街地再開発事業の決定  
鹿児島都市計画高度利用地区の決定  
13年 1月 市街地再開発組合設立認可  
13年12月 権利変換計画認可  
14年 2月 既存建築物除却(～平成14年3月)  
14年 4月 施設建築物工事着手  
15年 8月 施設建築物竣工  
15年 9月 再開発ビルオープン(フレッセ高見馬場)

### 施設概要

地区面積	4,666㎡	敷地面積	3,295㎡
建築面積	2,341㎡	延床面積	16,985㎡
建ぺい率	71.1%	容積率	424.0%
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造		
規模	地上13階		
用途	商業施設、共同住宅(141戸)、駐車場		



## 平之町2番街区

### 事業概要(優良建築物等整備事業)

当街区は本市の中心市街地に近接し、敷地の西側を幅員2.7mの河川管理道路をはさんで甲突川に面し、老朽化した建物が2棟建っていました。

そこで、土地の高度利用を図るとともに、川沿いにオープンスペースを確保した良好な環境整備を行う、優良再開発型(共同化タイプ及び市街地環境形成タイプ)による再開発が進められ、都市型共同住宅が完成しました。



### 施設概要

地区面積	1,785㎡	敷地面積	1,070㎡
建築面積	556㎡	延床面積	5,610㎡
建ぺい率	52.0%	容積率	399.9%
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造		
規模	地上14階		
用途	共同住宅(52戸)		

### 事業の経緯

平成14年11月 優良建築物等整備事業制度要綱に基づく認定申請書提出  
 16年 2月 施設建築物工事着手  
 17年 3月 施設建築物竣工

## 東千石町19番街区

### 事業概要(暮らし・にぎわい再生事業)

当街区の敷地整序型土地画整理事業により市が換地取得した土地については、民間事業者が主体となった整備・運用を図り、中心市街地の活性化に繋げることでしてしました。

そこで、地元の事業者が中心となり設立した会社が、暮らし・にぎわい再生事業(都市機能まちなか立地支援)を活用し、シネマコンプレックス(一部多目的ホール)を含む商業施設を整備しました。



### 施設概要

地区面積	24,000㎡	敷地面積	1,550㎡
建築面積	1,384㎡	延床面積	6,084㎡
構造	鉄骨造		
規模	地下1階、地上6階		
用途	商業施設、社会福祉施設、駐輪施設、シネマコンプレックス		

### 事業の経緯

平成21年 2月 暮らし・にぎわい再生事業制度要綱に基づく認定申請書提出  
 22年 1月 既存建築物除却(～平成22年3月)  
 23年 6月 施設建築物工事着手  
 24年 4月 施設建築物竣工  
 24年 5月 ビルオープン(LAZO表参道)

## 呉服町6番街区

### 事業概要(暮らし・にぎわい再生事業)

当街区には、かつて三越鹿児島店がありましたが、平成21年5月に閉店し、その後空きビルとなっていたため、歩行者通行量の減少など、周辺への影響が懸念されていました。

そこで、まちなかのにぎわい創出と回遊性の向上及び中心市街地の商店街活性化を図るため、暮らし・にぎわい再生事業(空きビル再生支援)による複合商業施設の再生が進められ、平成22年4月にオープンし、天文館地区の活性化に寄与しています。



### 施設概要

地区面積	7,000㎡	敷地面積	4,181㎡
建築面積	約4,000㎡	延床面積	約30,900㎡
構造	鉄筋コンクリート造		
規模	地下1階、地上8階		
用途	商業施設、多目的ホール、自走式駐車場		

### 事業の経緯

平成21年12月 暮らし・にぎわい再生事業制度要綱に基づく認定申請書提出  
 22年 1月 ビル改修工事、自走式駐車場整備工事着手  
 22年 4月 ビル改修工事完了  
 ビルオープン(マルヤガーデンズ)

## 千日町1・4番街区

### 事業概要(市街地再開発事業)

当街区が位置するいづろ・天文館地区は、近年の消費者ニーズの多様化や建築物の老朽化等により、商業の活力低下が懸念されていました。

そこで、にぎわいとゆとりある都市空間の創出や観光・交流機能の強化を図るため、組合施行による再開発が取り込まれ、商業施設と公益施設(天文館図書館)などからなる複合ビルが完成し、本地区を含む中心市街地全体の活性化に寄与しています。

### 事業の経緯

- 平成24年 8月 天文館まちづくり研究会設立
- 25年 6月 再開発協議会設立
- 25年度 基本計画作成
- 26年度 推進計画作成
- 28年 3月 市街地再開発準備組合設立
- 28年 8月 鹿児島都市計画第一種市街地再開発事業の決定  
鹿児島都市計画高度利用地区の決定  
鹿児島都市計画通路の決定
- 29年 7月 市街地再開発組合設立認可申請
- 29年12月 市街地再開発組合設立認可
- 30年 8月 権利変換計画認可申請
- 30年11月 権利変換計画認可  
既存建築物除却(～令和元年12月)
- 令和 2年 1月 施設建築物工事着手
- 3年12月 施設建築物竣工
- 4年 4月 再開発ビルオープン(センテラス天文館)

### 広場・ホール

暮らし・にぎわい再生事業を活用した支援により、民間事業者が再開発ビルの保留床(広場・ホール)を取得し、さらなるにぎわいの創出を図り、いづろ・天文館地区を含む中心市街地全体の活性化に寄与しています。また、その他の保留床取得に対し、都市開発資金貸付制度を活用しています。



### 隔地駐車場

呉服町2・3番街区の一部において、都市構造再編集中支援事業を活用した支援により、民間事業者が再開発ビルの来客用駐車場を整備し、交通処理の円滑化を図るとともに、土地利用の共同化等による市街地環境の改善に寄与しています。

- 1階：業務施設、駐輪場(396台)
- 2～7階：自走式駐車場(440台)



### 施設概要

地区面積	9,535㎡	敷地面積	6,087㎡
建築面積	5,466㎡	延床面積	36,645㎡
建ぺい率	89.8%	容積率	586.2%
構造	鉄骨造		
規模	地下1階、地上15階		
用途	商業施設、業務施設、図書館、 広場、ホール、ホテル		



### 天文館図書館

市は、都市構造再編集中支援事業を活用し、再開発ビルに天文館図書館を整備し、中心市街地のにぎわいの創出を図り、教育と文化の発展に寄与しています。



# その他

## 小川町21番街区

### 事業概要(市街地再開発事業)

当街区はかつて上町地区の商業地として栄えた所であり、老朽化した小規模店舗と住宅が混在していました。

街区周辺で鹿児島本港区の再開発、国道10号鹿児島北バイパスの整備、農協連跡地の再開発等が進められる中、当街区では組合施行による市街地再開発事業が取り組まれ、街区の特性である朝市の雰囲気を残した商業施設と職住近接の都市型共同住宅を整備した再開発ビルが完成し、地区の活性化に寄与しています。



### 事業の経緯

- 昭和62年度 鹿児島本港背後地区地区更新基本計画作成
- 63年 3月 小川町商店街協同組合から基本計画作成調査実施の要望書提出
- 63年度 基本計画作成
- 平成 元年 8月 市街地再開発準備組合設立
- 元年度 推進計画作成
- 4年 4月 鹿児島都市計画第一種市街地再開発事業の決定  
鹿児島都市計画高度利用地区の決定
- 4年10月 市街地再開発組合設立認可
- 6年 1月 権利変換計画認可
- 6年 8月 施設建築物工事着手
- 8年 1月 施設建築物竣工
- 8年 2月 店舗施設オープン

### 施設概要

地区面積	3,446㎡	敷地面積	2,296㎡
建築面積	1,808㎡	延床面積	12,971㎡
建ぺい率	78.8%	容積率	484.0%
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造		
規模	地上14階		
用途	店舗(1階)、住宅(3~14階、130戸)、 駐車場(44台)		

## 浜町1番街区

### 事業概要(優良建築物等整備事業)

当街区は、整備が進められていた鹿児島駅前広場に面し、市有地を含む浜町1番街区の一部において、駅前にふさわしい都市景観の形成や、にぎわいとゆとりある都市空間の創出などを図るため、整備が進められています。

### 事業の経緯

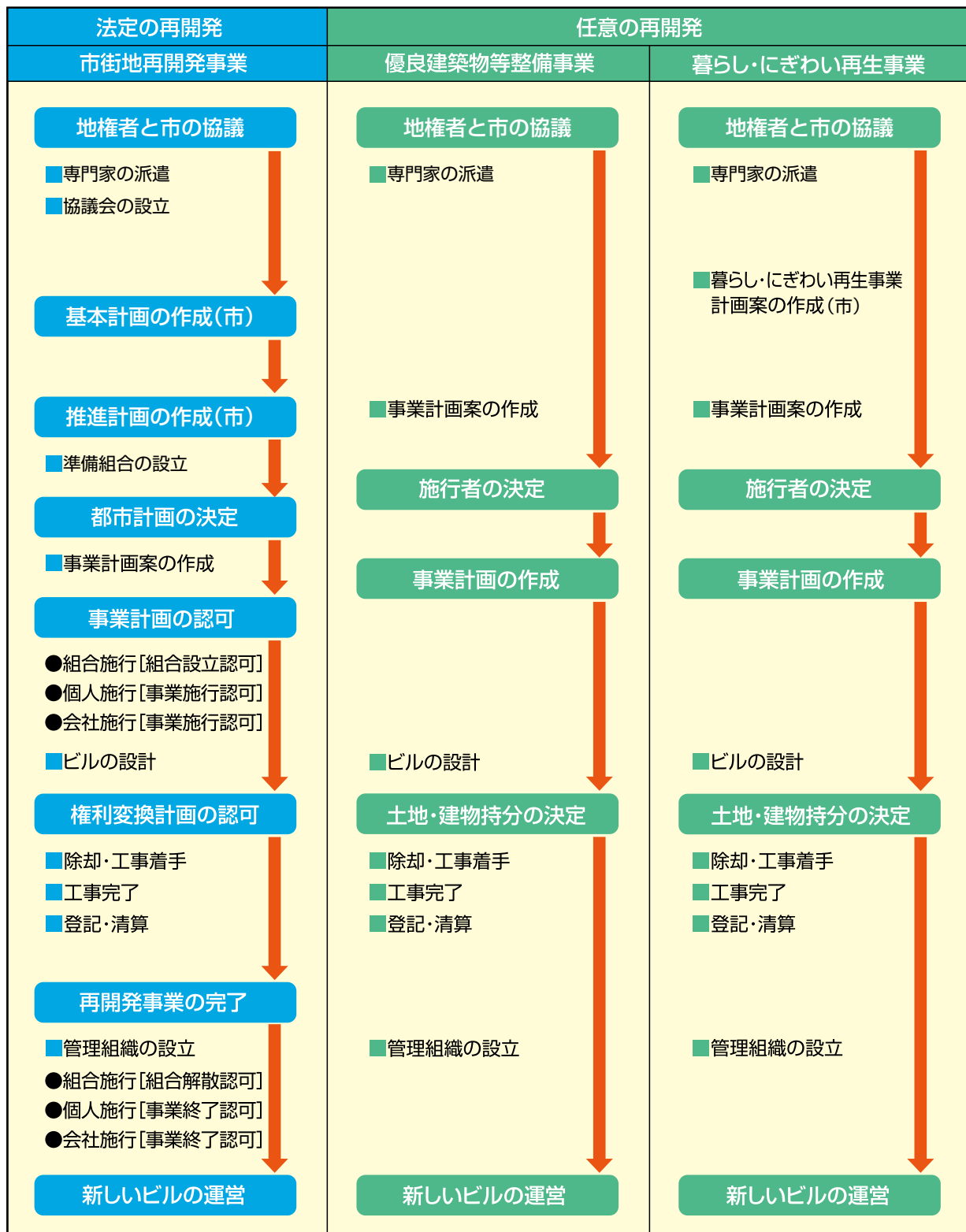
- 令和3年 2月 マンションの建替え等の円滑化に関する法律に基づく建替組合設立
- 3年 3月 優良建築物等整備事業制度要綱に基づく認定申請書提出
- 3年 9月 権利変換計画認可申請
- 3年10月 権利変換計画認可
- 3年11月 既存建築物除却(～令和4年2月)
- 4年 3月 施設建築物工事着手
- 6年 1月 施設建築物竣工

### 施設概要

地区面積	6,000㎡	敷地面積	3,849㎡
建築面積	1,500㎡	延床面積	15,641㎡
建ぺい率	39.0%	容積率	300.0%
構造	鉄筋コンクリート造		
規模	地上14階		
用途	店舗(1階)、住宅(2~14階、155戸)、 駐車場(1台)		



## 4. 再開発事業の流れ



令和5年3月

■発行 鹿児島市 建設局 都市計画部 市街地まちづくり推進課

TEL : 099-216-1388

MAIL : shimatiduku@city.kagoshima.lg.jp

■鹿児島市のホームページからPDFファイルをダウンロードできます。